

2021年第103回国際ロータリー
年次大会 タイ、バンコク
2012年5月6日—9日

報告者

熊本南 RC

寿崎肇

平成24年5月14日（月）

2012年5月6日 大会第一日目

2012年第103回国際ロータリー年次大会報告

開催地 タイランド バンコク

2012年5月6日—9日

熊本南 RC

寿崎肇

大会登録人員 約30,000人

日本人登録者 厄3,000人

5月6日大会第一日目

○朝7時30分より日本人朝食会が行われました。例年の2倍以上の感じ。1000名は十分超えています。

○挨拶

○田中作次 RI 会長エレクトのお話

将来に目を向けロータリーの未来と世界平和の進展が今日の若者たちにかかっています。より良い世界を後世に残していくためには、意義ある活動に若者の参加が必要であり、平和構築運動を続けていくために若者に力を与えるべし。2012-13年度クラブと地区はさまざまな方法で地元で「奉仕を通じて平和を」推進して下さい。世界平和フォーラム3か所。ベルリン 国境のない平和。ホノルル平和に至る緑の道。広島平和はあなたから始まる。広島は2013年5月17～19日です。

○千玄室 RI 元理事

日本から3人目の RI 会長 誇りに思い、素晴らしいロータリアンに日本をあげて応援するように。とおっしゃいました。

○諸宗教合同礼拝 8時30分—9時30分

日本人朝食会出席のため欠席しました。毎年ロータリーの教えと同じお話ですが必ず最後 RI 会長の挨拶はロータリーは宗教ではありません。と。次年度リスボン（ポルトガル）での年次大会には出席したいと思います。

○第1回本会議 5月6日10時より12時45分

タイ国王の代理として王妃が車いすで登壇全員起立で拍手。

司会者を務めたノエル・A・パジャット RI 副会長（米国）が王のメッセージを読み上げました。RI の国際大会がタイ国で初めて行われることに感謝。ポールハリスが自らタイでロータリークラブを作りました。東南アジアの中心になるよう言われました。超我の奉仕を实践するロータリーに感謝の意。

○タイ国王妃の挨拶

タイランド、バンコクでの RI 国際大会開催を感謝します。超我の奉仕の献身に心からお喜びいたします。王に代わり開会の宣言でした。幸福とご活躍を祈ります。

王妃退場。軍の佐官クラスが護衛を務めていました。日本での天皇陛下に対するより厳しいように見受けました。日本は人間天皇と言われました。

○開会宣言 ノエル・A・パジャット RI 副会長

ロータリーはロータリークラブがあつてのロータリーです、と。来期 RI は女性理事が 1 名次年度 3 名へ次に 4 名となります。(女性会員大きい拍手)

○歓迎の辞 OP バイシュ 2012 年バンコク国際大会委員長 (インド)

シカゴ以来最高多数の会員参加に感謝。タイでは元 RI 会長のビチャイ・ラタクル氏のご尽力に感謝。ポリオについてのインドの女性の方のお話。私の家族も 20 人ロータリーの良さを知ってもらっています。皆様もこのバンコクで深い思い出を体験して下さい。参加者皆様の体験談を楽しみにして下さい。

○タイ伝統舞踊の公演

ハワイと同じように手、指などで感情を表している？踊り？の感じですよ。

○国旗入場式 説明者シエカール・メヌ RI 理事 (インド)

入場のたびに出席者が声援と拍手でした。一番大きいのが米国・韓国・台湾も。新しい国・地域の参加がありました。

○タイ国歌の演奏に続いてインド国歌の演奏

○歓迎のあいさつ カルヤン・バネルジー RI 会長

奉仕について。困っている国。ロータリーは奉仕を志す人のクラブ。「心の中を見つめよう博愛を広げるために」RC は何をしているのか考えるチャンス。今まで考えられなかったことへの対応。2月23日は記念日。ロータリーの公共イメージを地域へ。古いイメージより脱皮。イギリス・フランスの広報。我々の集めるのは困っている人の情報。国際大会で素晴らしい体験が出来ますように。

一日目終わり

2012年5月7日(月) 第2回本会議

9時から本会議前の余興がインドの障害者のためのダンス団が行いました。

開会宣言に続いて RI 理事の紹介がカルヤン・バネルジー RI 会長より行われました。

講演の途中では幕間のタイの舞踊があり、元 RI 会長の紹介も行われました。お話をされた方はポリオがあと僅かについてのお話が必ず行われました。特に印象に残った講師について報告します。紹介者のお話も。

○ムハマド・ユヌス氏 マイクロ・クレジット

バングラデシュの大学で博士号。米国の大学でも。1976年ダッカ大学の近くの村で貧しい家庭を訪問した際、少額の融資が大きな変化をもたらすことを発見、この村で女性が竹を使っての家具作りを、しかし材料の竹を入手するため、法外な高い金利で融資を受ける、家具を売っても、ほとんど返済に充てるありさま、この状況にショックを受けたムハマド氏は自費で27米ドル相当を42人の村人に融資、村人を助けた。彼は村人に融資してもらえるように銀行を回りましたが、信用貸しはしない、と。しかしこの貧しい人々にチャンスを与えればローン

の返済や貧困から抜け出せると信じ銀行回りを続け漸く12月ムハマドさんが保証人でジャーナタ銀行が融資を約束、この融資70ロゼクトはのちの1983年10月貧しい人々への小口融資を専門とするグラミン銀行(村の銀行)として独立しました。2006年10月ムハマドさんはグラミン銀行とともに経済発展と社会発展への貢献を称えられノーベル平和賞を受賞しました。2009年5月現在グラミン銀行には750万の借り手、その97%が女性、2554の支店、84,237の村(これはバングラデシュの97%以上の村)にサービス提供。貧しい人への融資は70億米ドル以上返済はほぼ100%。資金の総てが利用者の預金。ロータリアンは実行者です。何百万人の子どもを障害に追い込んだ病気を0にした。と将来の物語に。この0になる事を証明するのがロータリアンです。私は自分の知らないことをやってみたい。私たちは上から下を見えています。それを下から上を見ると貧しい人の97%が女性です。私は70億ドルを担保なしで貸しています。世界でただ一人私は弁護士を持たない金貸しです。99.7%の貸金を払ってくれます。(拍手) 貧しい人はどうして出来たか、社会の体制が作ったと私は思います。たとえば盆栽です。小さな鉢の中の樹です。大きくなれません。貧しい人も同じです。盆栽の樹を植え替える、貧しい人への融資を担保なしとの姿勢に変える。金儲けが人生の目的ではなく手段です。社会の為に役立つ仕事は誰にでもできます。未来の人々が昔ポリオという病気が子供の将来を台無しにした。しかし今はない。同じように昔貧困と言われた人々があって多くの人が悩み苦しんだ時代がありましたしかし今はありませんと言える社会を作ろうではありませんか。と結んでおられました。

5月7日14:30より分科会204号

テーマ「クラブ会員の多様性を促進する」

○司会 目的はクラブの強みを高める

①どのようにアプローチすれば良いのか ②成功するには ③質問

RCは一律でなく多様性があります。またRCの中にも色々な人が会員としています。RCで多様性となると邪魔者扱いも考えられます。各々のRCが独自である。クラブレベル、地区レベル、奉仕活動の独自性と共に各々もの見方を広げる。特に女性会員と年配男子の違いお互いが受け入れる。年寄の考え付かないことを若い人は持ってフレッシュな感じ。若い人、女性会員の考え方、アイデア、尊重すべきこと。地域において職業分類の60%の職業がありながら10%しか会員がいない。どんどん入会してもらいべきです。これは長期的戦略です。年々修正を。女性会員の入会について5年計画として考えるのがポイントです。

○最初のパネリスト (パストガバナー) 地区?

年令の多様性、若い世代の人に将来クラブ会長になる人だから勉強になじんでもらう。若い人が入会して良かったと思えるクラブか。思えるクラブづくりこそ魅力あるクラブです。一例を申し上げる、例会服装カジュアル、開会4時半、出席率95%。入会候補はライラ、ローターアクト、インターアクトからの入会者。子どもを入会させる。中には父親と一緒に嫌という者

のために新クラブを作ってあげる。子どもたちの作った新クラブ当初30名から今3倍ほどの会員に。まとめとして柔軟性を持って物事を見る。

○次の方は女性 (パストガバナー) 地区？

民族、宗教、地域社会は、コミュニティはどんなところか。民族的な思想は。教育レベル。収入。職業ビジネスは？誰が商工会議所会頭か、学校の生徒の人類構成は。自分のクラブは住んでいる町を表象しているか。民族について考える、私はカナダバンクーバーの出身。アジア系、インド系、中国系、韓国系などで出身の国を代表して、奉仕のアプローチを行います。民族の多様性でクラブを作って成功。宗教の多様性も同じです。私は仏教徒。キリスト教の行事にも参加します。RC会員にも教会メンバーがいます。ロータリーは非宗教、昔のロータリアンはキリスト教徒でしたが、変化への対応 RC の会員も宗教や民族の多様性で会員増強は十分できます。

○司会 RC はいろいろと考えられます。地域の多様について。

○次のパネリスト (パストガバナー)

私の RC は男性だけの RC です。23年前(私のガバナーの年) RC に女性会員が出来ました。女性入会者2万人と言われ今は10万人。2万の時の女性ガバナー6名。カナダの女性会員は27%。大会社の女性社長が15%~17%。世界人口の半分が女性。女性社長の会社、女性会員の多いクラブは寄付も多い。女性会員を増してください。女性を入会させたいと口では言っても、実際は入れたくない。私のクラブは男性のみ。女性会長にも納得する雰囲気になれば OK。また、若い人に入会してもらい会長になるための勉強をしてもらおう。委員会活動にも時間を割いてもらおう。

○司会 男だけのクラブは退屈。女性を20%は早く。ロータリーがフレッシュします。若い人、女性が入りたいと言われるクラブづくりを心掛け、何が我がクラブの魅力か自慢できることをクラブ会員が異口同音で。

2012年5月8日 第3回本会議

卓鐘 カルヤン・パネルジーRI 会長

○「ロータリー財団についての基調講演」 ウィリアム・B・ボイド管理委員長

ポリオから子どもを守れば学校に行っても楽しく遊べる。水、飲料水を毎日女性の仕事として頭にバケツを乗せて水を持ち帰る、その行列。片道1時間2時間の道のり。井戸を掘ることで我々の水が身近に。コンピューターの教育について。学校づくりのこと。また、障害者のための学校づくり。これ等すべてロータリアンの仕事です。RCからの提供です。私が学校を訪れた時最初に聞こえてきたのは子どもたちの大きい笑い声でした。我々ロータリアンは子どもたちの笑い声を作る人々です。(RI 会長時代から財団管理委員長としてロータリアンの報告で現地視察(途上国)に行つての話でしょう)

ガーナに行ったとき小学校のトイレの手洗い水の為の雨水タンクの設置など。奉仕とは何か。ロータリーとは何者か。を語り続けています。我々が何を持っているかは何の関係もありません。

せん。何で喜んでもらったか。何を与えたか。こそロータリアンの最も大切にすべきものです。

○2011-12年度学友人道奉仕世界賞受賞者 ジョン・スカーリット氏挨拶

受賞者ジョン氏は研究科学者、大学教授の他、オーストラリア、ビクトリア州第一次産業副長官として大住正敏、杉田辰彦、トラリア最大規模の農業生産物の管理にあたっています。これまでインド、インドネシア、東南アジア諸国で医学、バイオテクノロジー、農業、公共政策などの援助を行ってきました。ジョン・スカーリットさんは1983-4年度国際親善奨学生として米国ミシガン大学にいました。元インターアクト、元ローターアクトであり、現在はハンプトン RC の会員です。お話は900万ドルの寄付。私はインターアクト、大学でローターアクトです。途上国ではまだまだ農薬が使われています。が10億人以上の人が食に困っています。津波で農地に塩がたまっただけで、また養魚場が壊れてしまいました。復旧が私共の仕事です。

○講演者（女性） ラジャシュレー・ビルラ 30代後半の方？

この方は「フォーチュン誌」が選ぶ500社の一つ。またアジア大手企業グループ「アディティア・ビルラグループ」の理事でこのグループはアルミニウム、カーボンブラック、セメント、衣料品、銅、ヤシ油の生産を行っており、携帯電話会社、保険会社、スーパーマーケットチェーンなど子会社を擁す。ラジャシュレーさんの夫はビルラ家の後継者、アディティア氏は1995年ビルラ財団設立。この財団はビルラ家の伝統を引き継ぎ、近隣の貧しい農村の人々の生活改善の為に保険、医療、教育に関する活動を行っています。講演されたラジャシュレーさんはボンベイロータリークラブの名誉会員であり、多くの賞を受賞されています。またポリオ撲滅にもロータリー20億ドルチャレンジにも多くの寄付をしています。一見30代後半の女性の方とお見受けした若い方で、これほどの財閥の方でなく財団学友としてのお話でした。36年続いた戦争の話とっておりましたがはてと思いました。ネパールのお話、中国とラオスの国境など東南アジア諸国特にビルマのカレン族への支援活動。ビルラ財団が近隣でなく1951年の国連の人権宣言より後活発な活動つまり保険、医療、教育のお話でした。

○「ポリオプラス最新情報」 ポリオ緊急国家間協力事務局長 ブルース・アイルワード女史

1998年世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）の責任者に任命されポリオ撲滅活動の監督にあっています。3500人のWHOスタッフを世界各地に派遣したり、新しい単価経口ワクチンと二価経口ポリオワクチンを採用するなどポリオ撲滅活動の拡大に大きく貢献しました。ポリオワクチンの投与をやり続けてわかることは、生きることは与えること。日々の生活の中で与えることがロータリーの心。ロータリーの心を経営に生かせば相手は喜び、人が育ちます。経営はトップにいる人が20%の力。80%が働く人たちの力。これが21世紀の資本主義ではないかと思えます。社会のために役に立っておれば消費者も評価をします。投資家も当然安心して投資の出来る企業です。与えることは自分の喜びです。思いやりの心が自分を喜ばしてくれます。私はこのように信じます。与えるということは相手に希望をもたら

すことです。我々は恵みを頂いておるから与えるのは当たり前。与えよ、与えよ、与えよ、と叫び続け実行し続けて下さい。ポリオワクチンを与える WHO なども指導する人。お役人？ポリオワクチン投与で悟ったのか。元々クリスチャンがこのような経営者の成功心理を突いたお話になるのかロータリアンなるが故か。奉仕、奉仕と国際大会は奉仕一色です。でも、ひとことで奉仕とはと問えば相手の喜ぶことをさせてもらうこと。に尽きるようにあります。

○ビル・ゲイツ氏のビデオでのお話　ビル・ゲイツ氏もロータリアン

私たちはマラソンの最終コースを走っています。皆さんの支援でもうすぐです。ポリオのストーリーを考えて下さい。27年の戦いでした。3億5千万ドル。ビル・ゲイツ財団より。

○ロータリーの2億ドルのチャレンジの最新情報

ジョン・F・ジャーム 2億ドルチャレンジ委員長

インドのような大きい国でポリオがなくなるはずはない。これが常識でした。これが0になったのです。ロータリアンがやったからできたのです。世界の応援の元インドのロータリアンがお金をだし、自分の命つまり時間を使い、ワクチン投与をやり続けたのです。インドでポリオがなくなったのはロータリーのお陰です。歴史上でインドにポリオがなくなったのです。アリガトウはインドの大統領にも言わないまたユニセフにも言わない。只々ロータリー有難うです。不可能と思うことをロータリーはやり遂げました。インドでポリオがなくなりました。ロータリーは3万4千のRC。そして120万のロータリアン。WHOよりすごい力を持っています。インドでポリオがなくなりました。世界の子どもが困らないように私は明日が今迄通りやります。ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンにはポリオはまだ残っています。この活動を続けなければまた子どもたちが困ります。今はまだ緊急事態です。子どもたちを見殺しにしないことです。WHO、ユニセフに協力願ってロータリーがリーダーシップを取ります。残された3つの国でポリオ撲滅宣言を早くして頂きたい。ロータリアンは緊急事態を十分理解して皆様の財団は財団のもっとも大切なことをやって下さいました。インドでのポリオは女の子が最後でした。2億ドルチャレンジも成し遂げました。あなたのお陰です。ポリオ撲滅についてあなたの大統領に、ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンにはポリオが残っていることなどあなた個人でお手紙を出して下さい。インドのロータリアンは世界のロータリアンに訴えました。「ポリオ撲滅して歴史を変えましょう」と。

○ロータリー財団管理委員長　ウイリアム・B・ボイド委員長のコメント

ロータリークラブが155ヶ国会員数35万人の時から始まったポリオプラスキャンペーン。今インドは2012年4月までの1年間ポリオ感染者の発症はなく。ビル・ゲイツ氏提案のロータリアンの2億ドルチャレンジ完成いたしました。ビル・ゲイツ財団からは3億5500万ドルのポリオ撲滅のための資金を頂きました。ここでストップしてはいけません。ポリオが世界で0になったのではありません。1985年の目標はまだ達成されてはなりません。ロータリーは街頭の募金で2時間で7億ドル集めました。インターアクターは自分のお金を1300万ドル寄付してくれました。ロータリアンのワクチン投与を見習って、ボラ

ンティアの方々が投与をやっているとビデオで紹介されました。2億ドルチャレンジは2012年5月4日現在の額は\$215,754,500を達成しております。

○本会議最後のコメント カルヤン・バネルジーRI会長

水を、頭にバケツを乗せて行列して歩いている姿をビデオで見ながら、ロータリアンお一人おひとりが水を節約して下さい。環境悪化を防ぐため電気も節約して下さい。水は全て女性の仕事。昔の戦時中「欲しがりません勝つまでは」を思い出し節約はいつの時代にも代々守り続けるべきことだと思います。

5月8日14:30分科会

大会期間中の4日間で分科会が60あります。そのうち日本語の同時通訳は2つ。日本のロータリアンは素晴らしいから少なくともいいとお考えか、開会式は真面目に出席する日本人だが以後は観光などで出席が少ない、日本人ロータリアンを重視する必要なしと思われるのか 等考えさせられました。せつかくの大会出席の時間を持て余す今度のバンコク RI 国際会議でした。

分科会テーマ

○「未来の夢、新補助金構成への移行について」

2013年7月1日は地区での補助金の移行が始まります。出席された方々は資金の申請で苦労なさった人々なのではないでしょうか今までの話は全然出ずまた熊本南 RC でもあまり取り扱ってなく私自身分からない中同時通訳の難しい通訳も私には難しく、しかし2720地区で審査する地区が大変だろうが勉強して早く申請を出せるようにすれば、タイ北部での奨学金の問題、井戸からのきれいな水を提供することも財団の金で出来るようにする。こんなことを考えながら勉強いたしました。

○司会

2013年7月1日以後の財団補助金の申請に備えるために試験地区のロータリアンがさまざまな質問に答え参加資格認定や規模の大きい補助金プロジェクトなどの経験を紹介します。2005年に新しい補助金は5つの項目（説明がないので後日勉強して報告します）を地区に決定権を任せることでの試験期間を終わろうとしています。

○女性のパストガバナーの報告 3400地区 インドネシア

資格認定については地区と RC です。グローバル補助金。パッケージ補助金。ガバナーエレクトと財団委員長を2人の了解で RI にオンラインで申請します。クラブの資格認定は地区が認定します。地区と財団でなく地区とクラブです。

○韓国パストガバナーのお話 3150地区

地域が主役で財団の補助金移管は長期的に利益になると思います。マッチンググラントについて我々はアフリカで活動致しました。

○1750地区のパストガバナーのお話

地区ではリーダーの研修や補助金管理セミナーは有効でした。

出席して分かったことは自分の勉強不足でした。勉強しておれば同時通訳の話も十分理解できたものを。と思い誠に残念でした。

5月9日(水)

8時45分より9時10分までヨガの修行のような吉原コウイチがボーイズの曲芸?がありました。

9時15分より11時45分まで第四回本会議

開会宣言 点鐘 カルヤン・バネルジーR I会長

○役員(ガバナーノミネーを含む)とR I会長ノミネーの選挙

各自の名前を読み上げ賛成の人は「アイ」反対の人は「ノー」と。「アイ」の声が大きく、「ノー」の声は聞こえませんでした。R I会長はアイ大多数で当選と宣言。

○R I会長ノミネーによる受諾演説 ロニ・D・バートンR I会長ノミネー

2013-14年R I会長ロニ・D・バートン。

ロータリーはスペシャルな団体です。社会の水準をアップさせる団体です。ロータリーは何をしてきたか自慢することです。広報になります。四つのテストの実行です。超私の奉仕です。(R I会長が拍手をお願いと) 2012年ポリオは0になりませんでした。益々可能性が強くなりました。インドのような広く人口の多い国がポリオが0になったのです。27年前155ヶ国のポリオが今パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3ヶ国です。27年間頑張ってきました。第一目標はポリオ撲滅です。2013年7月1日より地区資金補助金が始まります。

○2013年リスボン国際大会の推進。ルイス・ミゲル・ヅアルテ2013年ホスト組織委員長ビデオを見せてもらいました。(会場が暗くメモが出来ず)

14:30~17:00 閉会本会議

○国際大会委員長、ホスト組織委員長、会場監督への感謝の辞。全員壇上へ。

カルヤン・バネルジーR I会長

○会長エレクト田中作次氏と家族の紹介 (現会長家族の4分の1くらいか)

○田中作次R I会長エレクトの紹介

田中作次氏は子どもの頃総理大臣になりたいと度々言っておりました。田中さんの会社は上場会社です。30年ぶりの日本からのR I会長です。何にでもトップになるという執念が総理大臣でなく会員120万を世界に有する国際ロータリーの会長になりました。

○田中作次会長エレクトの講演

私は貧しい家の兄弟8人の4人目。20キロ歩いて学校に行きました。ロータリーに入会するまでは競争相手の会社とはいっても激しい競争でした。RCに入会し職業奉仕について学びました。我々職業の目的は収入とか利益が目的でなく、もっと高い目標で自分以外の人の役に立つ人生こそ、本物の人生である、と。ロータリーでは平和という言葉をよく使います。

逆に平和でないことを考えた方が平和がどういうことなのかがよく分かります。貧困を考えても。思想の自由。安心した人生。平和とは自由な心の豊かさです。人々との基本的なものの平和、つながり、心のニーズ、力を合わせれば解決できることを学びます。思いやりを学びます。人々を理解することを学びます。対立より協力の得。どんなことも人から学ぶことが出来ます。超我の奉仕は人間の生き方です。自分の為だけでなく。超我の奉仕というのは大切なことです。ロータリーのテーマは「奉仕を通じて平和を」人間自分だけでは生きていけません。私の年代は日本で戦争を体験しました。平和の大切さ。世界で今も同じです。皆のために何がしたいか。3月11日の大震災。自分のことより相手のことを先に考えれば平和になります。事業家として考えれば相手の満足です。相手のことを先に考えれば平和になります。今年のテーマ「心の中を見つめよう、博愛を広げるために」心を見つめる積み重ねが奉仕を通じて平和になります。

○R I 会長による閉会の辞 カルヤン・バネルジー R I 会長

自分のクラブと田中さんのクラブを紹介。私は一生に二度と経験させてもらえないことを体験させてもらいました。(テーマはガンジーの思想の延長のような気がします) ポリオについて「決してあきらめない」各国語がビデオで。もうすぐポリオのない世界の実現です。

暗い会場で何とかメモのとれたもの、思い出すものを報告致しました。

「奉仕」とは相手の喜ぶことをする。この拡大されたものが超我の奉仕だな、と。

今回第103回国際ロータリー年次大会で学ぶことが出来ました。

ありがとうございました。

合掌